

特集 久保ひとみさんと考える

「まちなか」と「子育て」

まちなか 子どもを 育てよう

高校生が勉強でき
る自習室のよう
なカフェ
40代・自営業

ただっ広い場所
があるだけで
子供は遊ぶ
30代・主婦

塾帰りに高校生
が遊べる場所が
欲しい
30代・会社員

まちなかの商
店で職業体験
40代・自営業

いろいろな場所、
空き室や空き家、
美容室の中などに
託児所があると便利
40代・主婦

お年寄りが子供
に昔の遊びを教
える機会がある
と素敵
50代・会社員

子供の習い事で
ママ友を作りたい
20代・主婦

子供もお年寄りも
使いやすい
百円バスは便利
30代・会社員

ママさんサークル
が集まるフリース
ペースが欲しい
20代・OL

高齢者支援施設と
子育て支援施設が
一体化した場所が
欲しい！
20代・主婦

保育所施設は
充実してほしい
30代・主婦

仕事しながら
子育てできる環境
30代・主婦

まちなかの活性化と一口に言っても、様々な方向性がある。様々な価値観があり、その全てをなんとかしようとするのは難しい。今、私達浜松まちなかにぎわい協議会は、その数ある方向性の一つとして、「子育て」に着目しています。子育てという視点でまちなかを見た時、どのような変化のきっかけが「まちなか」に生まれるのでしょうか。

今回の特集ではまず始めに、私たちが考える子育てのしやすいまちなかの理想図を紹介します。

次ページからのインタビュー企画では、自身も一児の母として子育て期の基盤を浜松で過ごした久保ひとみさんをお招きし、まちなかと子育てについて話を伺いました。子育てとまちなかについて、私たちが一緒に考えてみませんか。

※このスケッチは子育てに従事するまちなかのみさんの意見を反映させた、架空に設定した中心市街地の理想図です。現在の浜松市中心市街地ではなく、実在する土地、建物、交通とは一切関係ありません。

久保ひとみさんと

考える

「まちなか」と「子育て」

自身も一児の母として子育て期の基盤を
浜松で過ごした久保ひとみさん。
浜松まちなかにぎわい協議会の河合正志
局長が聞き手となり、まちなかと子育てに
ついて話を伺いました。



「まちに行く」というのが合い言葉で
楽しみでしようがなかったですね。

子供時代を過ごしたまちなか

河合 今日、静岡県では知らない人
はいないんじゃないかという久保ひと
みさんをお招きして、「まちなかと
子育て」について考えてみたいと思
います。実は久保さんは生まれも育ち
も浜松なんですよ。久保さんの小さ
い頃の思い出はありますか。

久保 私が子供の頃は本当にまちな
か全盛期の頃だったと思います、小
さい頃は**松菱の屋上**に行ったり、祖
父が松菱が好きで地下のうなぎの肝を
買って帰って小さいながらに食べた
り、**西武百貨店**にもラジオの公開
スタジオがあってアイドルや有名人に
会いに行ったり、とにかくお洒落をし
てまちへいこうという時代でしたね。
学生時代になってからも洋服なんか
はDのブランドブームで丸井、西武、
サゴ、肴町と、パーゲンの時に走り
まわっていました。「**まちに行く**」
というのが合い言葉で楽しみでし
よかったですね。

河合 その後、社会に出られてからは

どのように浜松のまちなかと関わって
いるのでしょうか。

久保 テレビ局に行くようになってか
ら仕事の拠点は静岡ですけど、所謂
ライベートな時間はずっと浜松で過
しています。結婚して子供を産んだ
ということもあって、生活が変わり始
め、そこから特にまちなかには行き
にくくなりましたね。

河合 生活が変わったことが、まちな
かになくなった理由として大きかった
んじゃないですか。

久保 そうですね、その頃にイオンの
ような大きなショッピングセンターが
出来始めて、子供を産むタイミングで
車で行けるところが増えてきた
ので。そうすると車で行ける場所が一
番楽になってくる。子供をまちなかへ
連れていった記憶というのは、**ザザ
シティの子ども館**くらいですか
ね。入場料が安くて、屋根もあって、
駐車場もあるので一日時間が潰せると
いう意味でよく利用していました。

河合 子ども館をよく利用していた理
由はまちなかにあるということもあ



対談の様子

たんでしょうか？

久保 **みんなが集まれる**、自
分の地元だけではなくて、浜松の中
でもいろいろな所に住んでいる友達
がいるじゃないですか、そうすると中心は
まちなかになるので、そういう理由で
も利用してましたね。でも集まって
遊びが終わった後は、まちなかで遊
んでいくところがなかったもので、そこ
から直接イオンに行ってしまったこと
もあって、それは少し寂しいですよ
ね。そこで何かあれば多分寄って
いったと思うんですけどね。

遊びは「まちなか」から 「イオン」へ

河合 お子さんが少し成長して一人
で遊べるようになってからは、お子
さんはまちなかに行っている様子
はなかったんですか？

久保 子供が成長して中学生くらい
になってからは、本当に申し訳ない
（笑）、完全にイオンですね。「ま
ちなか」という私たちの合い言葉
が「**イオン**」になってくる」とい
う感じになりました。寂しいです
よね。

河合 久保さん自身が中学・高校の
頃まちなかで感じていた楽しさと、
今の子供たちがイオンに行く楽し
さは同じようなものなんですかね？

久保 同じだと思いますね。私たち
がこぞって何かあるとまちなかに行
っていたのと一緒で、イオンに行
けば誰かいるようだし。一つの建
物なのに、お金をそんなに持た
なくても見るとこもいっぱいあ
って、本当に楽しみが凝縮してい
るんだなと思いますね。アイ
ドルが来たり、イベントもや
っていて、私たちが西武の前や
松菱の屋上で見ていたものがイ
オンに行けばあったりするの
です。まちなかにそういう
楽しみをもう一度持っていてほ
しいな。

河合 僕らみたいに普段からまちなかを考えている人に言わせると、イオンは全国どこでも売っているものしかなくて、まちなかは面白さはあるけどわかっていないだけだという話によくなるんだけど、意外とそうでもないんですかね。



対談後まちを歩き個店を紹介。写真はミノノサイクル。

久保 私なんかもしよっちゆう行っちゃうくらいですから楽しみはありますよ(笑)。やっぱり、まちなかの楽しみが、私たち大人も含めてよくわからないんだと思うんです。楽しさをもっと伝える術があればいいなと思

いますけど。歩いていて、ウィンドウショッピングが面白ければ、車を有料駐車場に入れても絶対にいきますからね。そういう面白さは私たちが知らないの、逆に教えてほしいくらいです。そしてその面白さを私が皆に伝えたいくらいです。

河合 一方でイオンと同じものを持つてくればいいのか、あるいは全然違うものを持つてきたらいいのかということも考えると悩ましい部分でもあります。それを前提として、新しいま

ちの機能、例えば、教育、健康だとかをまちなかに持つてこないかと勝てないのかなと思うんですよ。
久保 でも日々教育や健康を突き詰めている人はそこまで多くないですからね。見習うことは見習って、個人的なものも混在させることが大事かな。個人的なものばかりだとこれまたなかなか皆が集わないので、ベタなことはありつつ個人的な部分を出す。
静岡市の市街地のようにファーストフードやゲームもあって、個人的なものもあってみたい。

河合 そういって点で、例えば、子供が小さい時の子育てで困っていたこと、

違うかもしれないね。(笑)
「習い事」より「遊び」が大事
河合 子供が少し成長して幼稚園、小学生くらいになった時のまちなかに来る目的として、教育のようなものはどうでしょうか。例えばお子さんがまだ幼稚園、小学校の時の習い事。親は子供に習い事をさせる時には、何かを期待しているんですかね。



対談後、実際に街を歩き、現状を確認。

久保 それはすごい微妙なところで、遊ぶために預けるとなるとすごい罪悪感があるんですよ。預けてまで遊ぶ？みたいな。ちょっとホッとできればそれでいい。預けるとなるとなんとなく自分のために子供を犠牲にしちゃってるみたいなのがすごくあって、ちよっと得するだけでいいんです。すごい得するとごめんなさいってなってしまう。

河合 母性ですかね。お父さんとは

お母さんは子育てなどで日々疲れているので、子供が遊具で遊んでくれると少しホッとします。その時間がすごく貴重なんですよ。



対談場所：中区肴町に新装開店したベーカリーカフェ「マリアージュ」

かも！?とか、ピアノ習わせたら世界コンクールで優勝しちゃうかも!?とか(笑)未知の子供への期待というのがありますよ。

河合 まちなかにそういう期待を育ててくれるような機能があれば足を運ぶかもしれないということでしょうか。

久保 それは習い事かという気はしますよ。習い事だったらいくらでもそこら中にあるから近場に通わせることになる。やっぱり「遊びながらの」、じゃないですかね。皆得したいんですよ絶対。遊びながら、ちよっとしたことが学べて得できたら最高ですよ。

河合 中学生くらいの子が友達だけで遊ぶという時、まちなかに来てもらうとしたら遊び以外はどうですか。

久保 うーん、遊び以外では考えられないですね。中学生といってもまだまだ子供ですからね。楽しいって感じる所じゃないとなかなか行かないんじゃないですか・・・。

河合 その辺りがまちなかの課題ですね、子供が小さい頃は親子で集客して安心して楽しめるもの、中高生に対しては遊びが最大の楽しみであるのでイオンとは違う楽しみを見つけたいいけないけど、さてそれはなんだろうというところですかね。



河合 正志 (かわい・まさし)
1960年 静岡県浜松市生まれ。
2010年 遠州鉄道から浜松まちなかにぎわい協議会事務局へ



久保 ひとみ (くぼ・ひとみ)
浜松市生まれ。現在、テレビレポーター・ラジオパーソナリティとして活動中。静岡第一テレビ「静岡まるごとワイド」、「ケンミン」、K-MIX「WONDER '69」、その他CM・広告・WEBなどに出演。1児の母としても奮闘中!